

エアコン・扇風機の事故に注意 ～6月から急増！火災事故～

気温が上がり、エアコン^{※1}や扇風機^{※2}を使う機会が増えてきます。毎年6月から8月はエアコン及び扇風機の火災事故が多く発生することを踏まえ、エアコン及び扇風機について注意喚起を行います。

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報において、エアコン及び扇風機の事故は2013年度から2017年度の5年間に合計404件^{※3}(エアコン286件、扇風機118件)あり、7人が死亡しています。事故状況では5年間で火災事故が354件(エアコン258件、扇風機96件)と多く発生しています。

エアコンの電源コードの途中接続による事故や古い扇風機の部品が劣化して発火する事故が毎年発生しています。エアコンや扇風機の使用を開始する前に製品に異常がないかを確認し、事故を未然に防ぎましょう。また、リコール対象製品による事故も発生しているため、お持ちの製品がリコール対象か否かを確認してください。

■エアコンの事故事例

- エアコンのファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵されたコンデンサーがショートし、発熱・発火し、出火する事故が発生した。なお、製造事業者は2014年10月17日よりリコールに基づく製品の点検・修理を実施していたが、使用者がリコールを把握していたかは不明である。【2017年8月、滋賀県、男性】
- 使用者の知人が室内機と室外機を接続する配線を延長するために一旦切断し途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火する事故が発生した。なお、据付工事説明書には、「配線は途中接続しない。感電、火災の原因になる。」旨、記載されている。【2018年2月、埼玉県、性別不明】

□エアコンの注意事項

- リコール製品による事故を防ぐため、お持ちの製品がリコール対象かどうかを確認してください。リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入業者に相談してください。
- 設置などが適切な形で行われているか確認してください。また、改造などで不適切な取り付けを行わないでください。

室内外ユニット間配線の途中接続により発火



■扇風機の事故事例

- 約41年の長期使用により、内部の電気部品が劣化して出火する火災が発生した。【2017年10月、兵庫県、女性】

□扇風機の注意事項

- 扇風機内部の電気部品は長期の使用により劣化するので、動きが悪い動かなくなった、モーターから異音がある、異常に発熱する、焦げ臭いにおいがするといった症状が出た場合は、発熱や発火のおそれがあるため、使用を中止してください。
- 使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

内部部品から発火



(※1) ルームエアコン(室外機、室内機)。

(※2) ファンが見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。

(※3) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

1. 事故の発生状況

1. 製品別 年度別 事故発生件数

図1に「年度別 事故発生件数」を示します。2013年度から2017年度の5年間、エアコン及び扇風機では、いずれも火災事故が毎年発生しています。

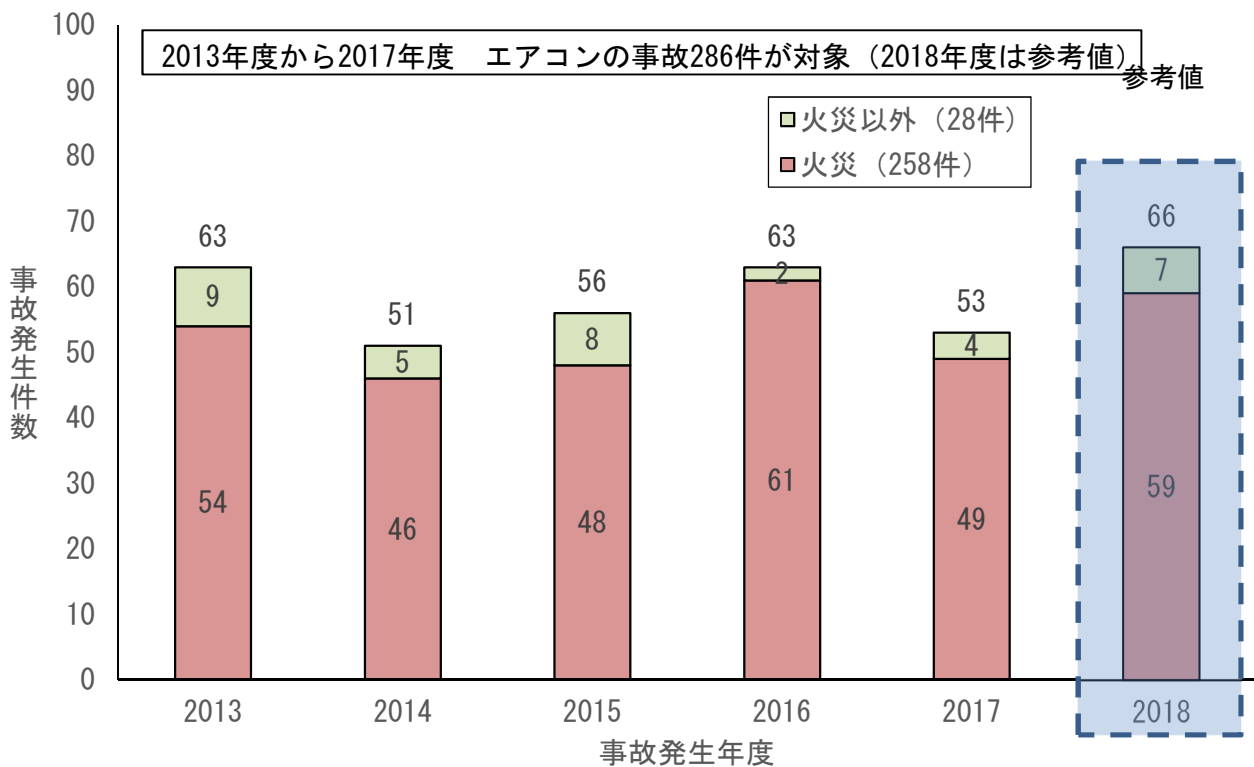


図 1-1 年度別 事故発生件数 (エアコン)

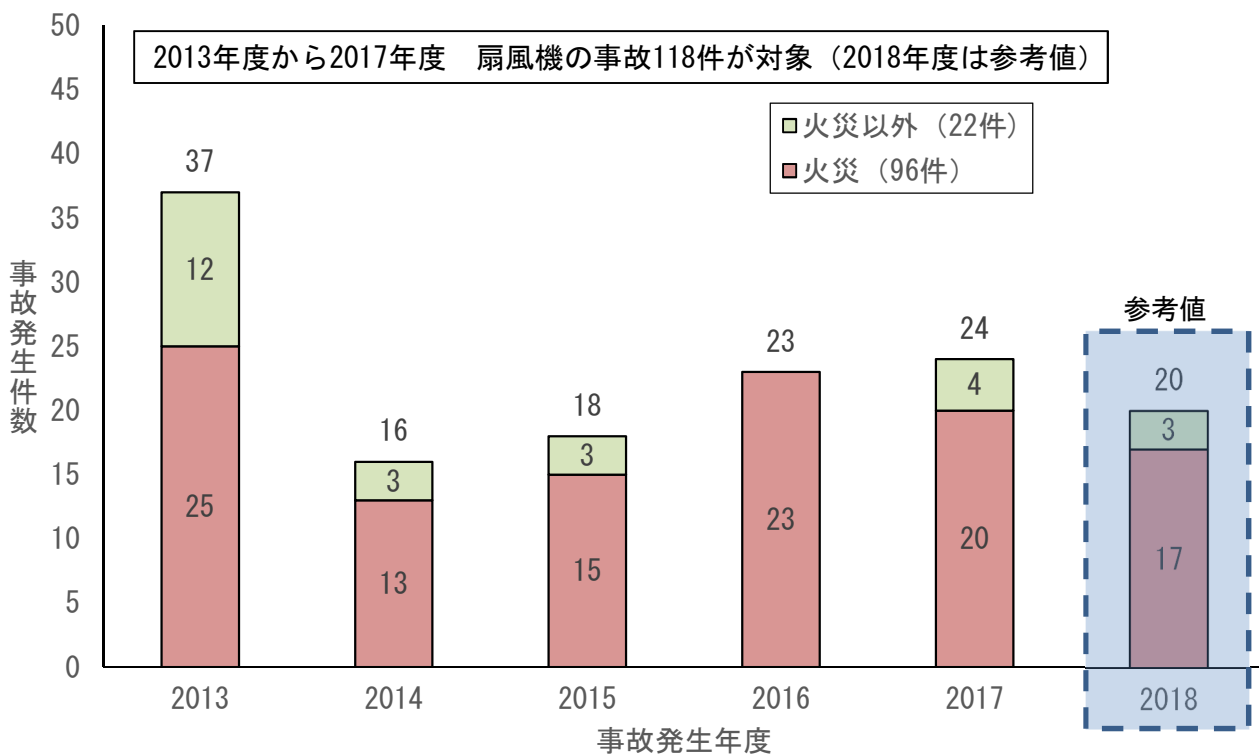


図 1-2 年度別 事故発生件数 (扇風機)

2. 製品別 月別 事故発生件数

エアコン及び扇風機による事故 404 件のうち、事故発生月の判明した 403 件について、図 2 に「製品別 月別 事故発生件数」を示します。

エアコン及び扇風機による火災事故は 6 月から 8 月にかけて最も多く、年間の約半数(203 件)がこの 3 か月間で発生しています。

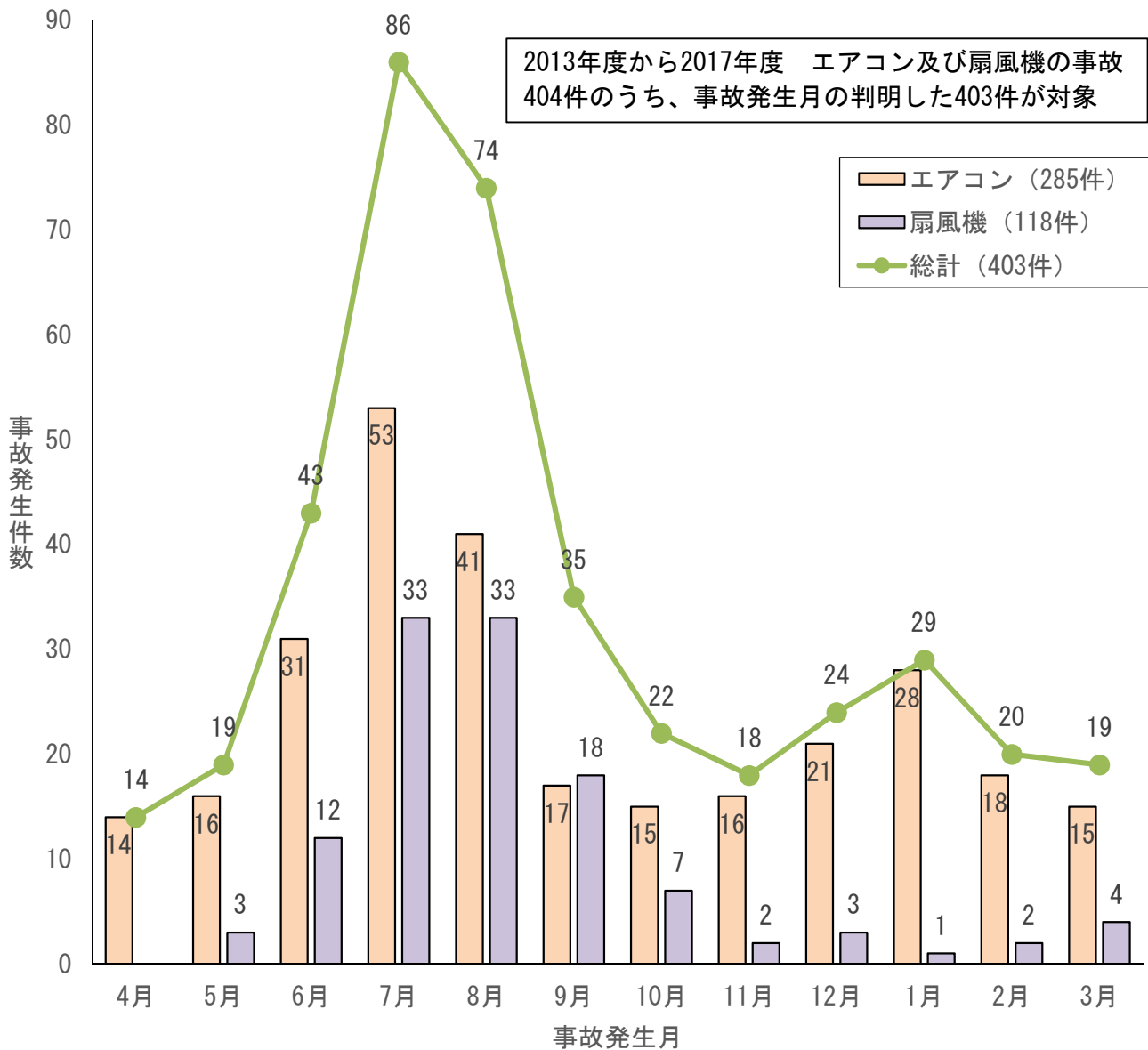


図 2 製品別 月別 事故発生件数

3. エアコンの事故について

(i) 事故原因別 事故発生件数

図3に2013年度から2017年度の5年間におけるエアコンの事故286件のうち、調査が終了し、公表している266件の「事故原因別 事故発生件数」を示します。

事故原因別に分類（別紙1参照）すると、

- 製品に起因する事故 92件（35%）
- 製品に起因しない事故 88件（33%）
- 原因不明のもの 86件（32%）

の比率になっています。

エアコンによる事故は、「製品に起因する事故」が92件（35%）発生しています。内容は「はんだ付け不良」や「部品不良」による事故などが発生しており、一部は事業者がリコールを実施しています（別紙8参照）。リコール対象製品による事故はリコール開始から10年以上使用した後に発生した事例があり、長く使用できている製品もリコール対象製品の可能性があります。お持ちの製品がリコール対象製品かどうかを必ず確認してください。

また、「製品に起因しない事故」が88件（33%）発生しています。そのうち28件が室外機の焼損事故ですが、調査した結果、原因の特定はできなかったが製品には出火の痕跡がないものがほとんどで、外火などの火災が疑われます。

また、施工、修理又は輸送などに問題があった事故の詳細は「電源コードの途中接続（ねじり接続など）により異常発熱・発火」、「エアコン洗浄により洗浄液が機器内部に浸入してトラッキング現象^{※4}が発生し、ショートして発火」などがありました。

（※4）付着したほこりや水分により電気の通り道（トラック）が生成され、異常発熱する現象。

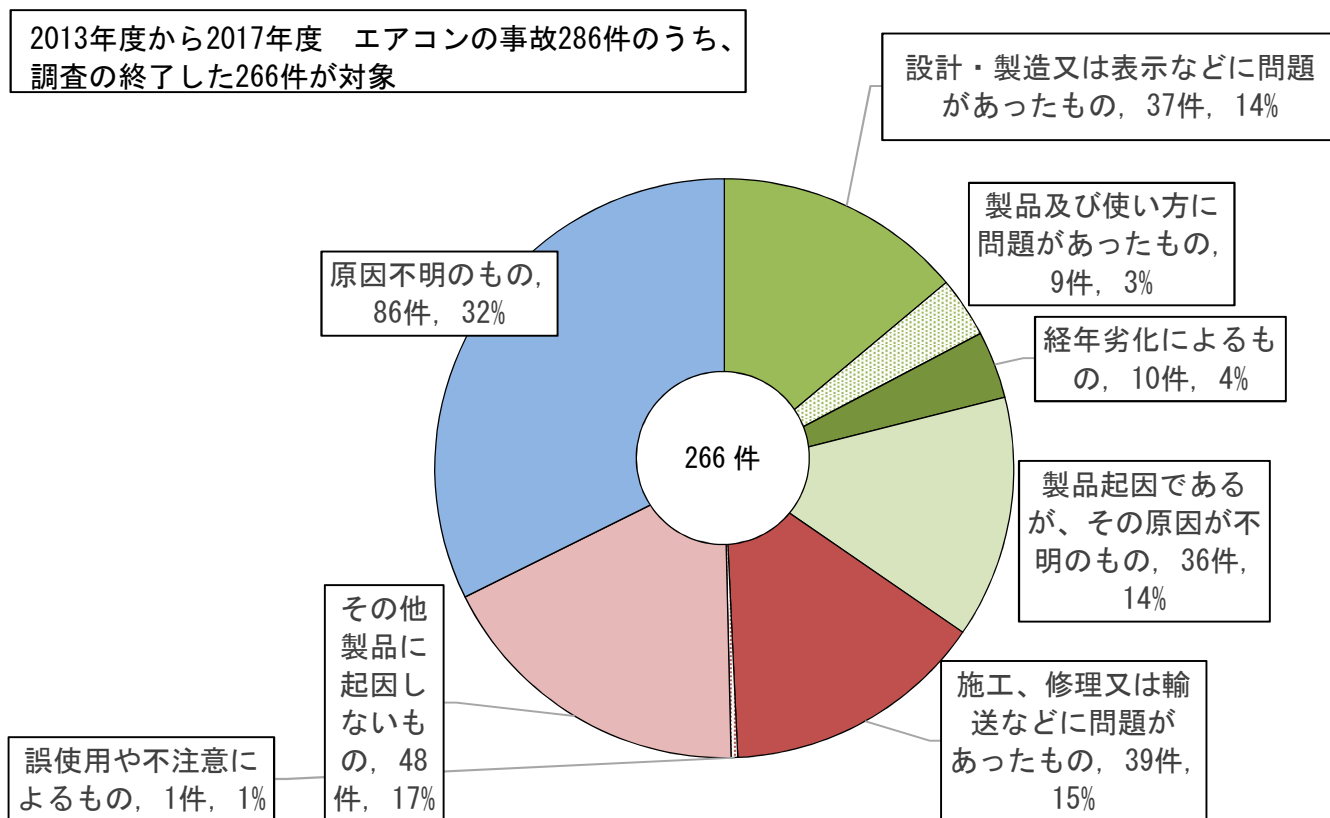


図3 エアコンの事故原因別 事故発生件数

表1にエアコンの事故286件の「事故原因別 被害状況」を示します。

表1 エアコンの事故原因別 被害状況^{※5}

被害状況		人的被害			物的被害		総計	
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因								
製品に起因する事故	設計・製造又は表示などに問題があったもの		1 (1) [0]	2 (4) [1]	22 [18]	12 [11]	37 (5) [30]	
	製品及び使い方に問題があったもの				4 [4]	5 [5]	9 (0) [9]	
	経年劣化によるもの				5 [5]	5 [5]	10 (0) [10]	
	製品起因であるが、その原因が不明のもの			3 (6) [2]	15 [15]	18 [15]	36 (6) [32]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	1 (1) [0]	5 (10) [3]	46 (0) [42]	40 (0) [36]	92 (11) [81]
製品に起因しない事故	施工、修理又は輸送などに問題があったもの		1 (1) [0]	3 (6) [2]	30 [29]	5 [4]	39 (7) [35]	
	誤使用や不注意によるもの				1 [1]		1 (0) [1]	
	その他製品に起因しないもの		1 (1) [1]	1 (1) [1]	33 [32]	13 [12]	48 (2) [46]	
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	1 (1) [1]	1 (1) [0]	4 (7) [3]	64 (0) [62]	18 (0) [16]	88 (9) [82]
原因不明のもの			2 (2) [2]	6 (7) [3]	65 [63]	13 [8]	86 (9) [76]	
調査中のもの				1 (1) [1]	15 [14]	4 [4]	20 (1) [19]	
総計		事故件数 被害者数 火災件数	3 (3) [3]	2 (2) [0]	16 (25) [10]	190 (0) [181]	75 (0) [64]	286 (30) [258]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(ii) 製品に起因する事故の事象別 事故発生件数

表2に「製品に起因する事故」における「事象別 年度別 事故発生件数」を示します。

「コンデンサーの発火」及び「基板の発火」はどちらも継続して発生しており、「コンデンサーの発火」は28件中20件が、「基板の発火」は23件中11件がリコール対象製品による事故です。

表2 製品に起因する事故の事象別 年度別 事故発生件数

事故の発生状況	2013	2014	2015	2016	2017	総計
コンデンサーの発火	8	7	5	4	4	28
基板の発火	1	4	4	9	5	23
ファンモーター配線の発火	6	4	2	3	1	16
コンプレッサー付近から発火	1	3	2	1	1	8
室内外ユニット間配線の発火	2		1			3
その他	3	3	5	2	1	14
総計	21	21	19	19	12	92

(iii) 製品に起因しない事故の事象別 事故発生件数

表3に「製品に起因しない事故」における「事象別 年度別 事故発生件数」を示します。

「洗浄などによるファンモーター配線の発火」は2017年度では発生件数が少なく、一方で「室内外ユニット間配線の途中接続から発火」は近年増加しています。

なお、()内は、内数で[施工、修理又は輸送などに問題があったもの]の事故の件数であり、主にエアコンの施工業者の不備によるものです。「室内外ユニット間配線の途中接続から発火」においては16件中14件が施工業者の不備によるものです。事業者を設置をしてもらった場合でも、途中接続がされていないかなど、正常に取り付けられているか確認しましょう。

表3 製品に起因しない事故の事象別 年度別 事故発生件数

事故の発生状況	2013	2014	2015	2016	2017	総計
洗浄などによるファンモーター配線の発火	5(3)	5(3)	1	7(5)	1	19 (11)
室内外ユニット間配線の途中接続から発火	1(1)	1(1)	4(3)	4(4)	6(5)	16 (14)
電源コード途中接続部の発火	5(3)	1(1)	2(2)	1	2(1)	11 (7)
小動物の侵入などによる基板の発火	3	2	3	1		9
業者の不注意によるコンプレッサーの破裂	1(1)	1(1)	2(2)		1(1)	5 (5)
焼損しているが製品からの出火痕跡なし	4	5	2	7	3	21
その他	3(1)		2(1)	2		7 (2)
総計	22(9)	15(6)	16(8)	22(9)	13(7)	88(39)

4. 扇風機の事故について

(i) 事故原因別 事故発生件数

図4に2013年度から2017年度の5年間における扇風機の事故118件のうち、調査が終了し、公表している111件の「事故原因別 事故発生件数」を示します。

- 事故原因別に分類（別紙1参照）すると、
- 製品に起因する事故 78件（70%）
 - 製品に起因しない事故 7件（7%）
 - 原因不明のもの 26件（23%）
- の比率になっています。

扇風機による事故は、「製品に起因する事故」が78件（70%）発生しています。中でも経年劣化によるものが31%と多く、古い扇風機の使用には注意が必要です。経年劣化による事故の例として「長期使用によって絶縁劣化や接触不良などが生じ、異常発熱やショートして発火」などがあります。

2013年度から2017年度の扇風機の事故118件のうち、調査の終了した111件が対象

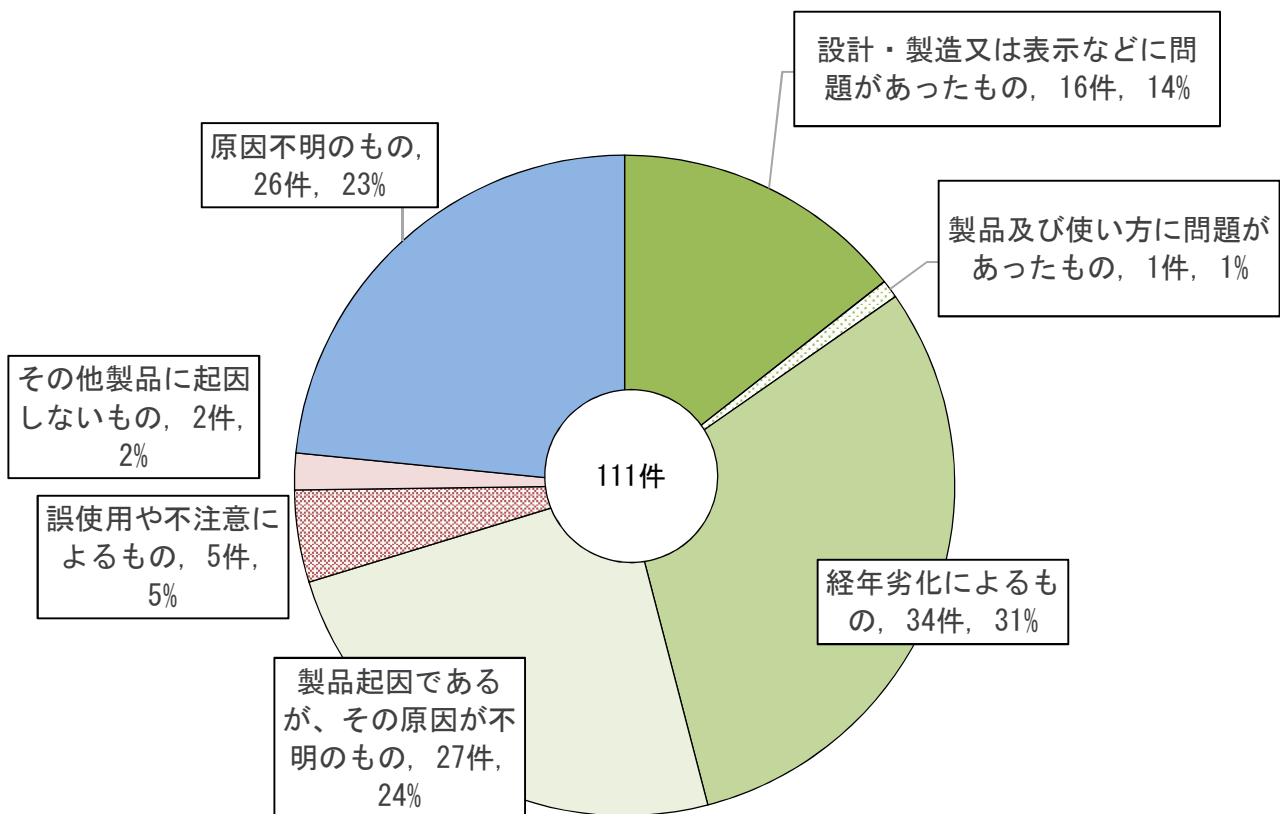


図4 扇風機の事故原因区分別 事故発生件数

図5に「使用期間別 経年劣化事故発生件数」を示します。扇風機の事故は初期不良などにより使用期間が5年未満に40件発生し、使用期間が20年を越えてからも43件発生しています。

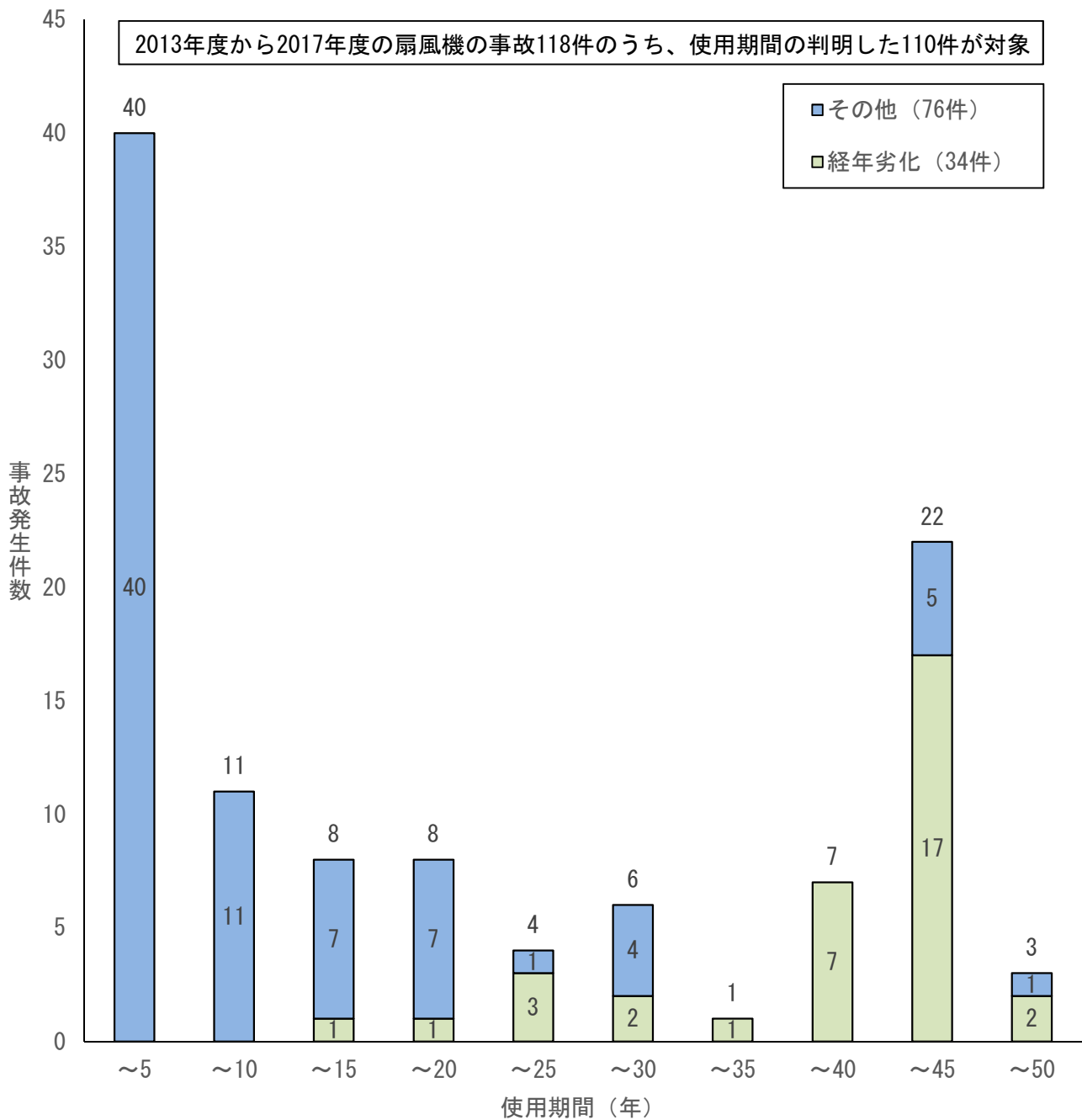


図5 使用期間別 経年劣化事故発生件数

表 4 に扇風機の事故 118 件の「事故原因別 被害状況」を示します。

表 4 扇風機の事故原因別 被害状況^{※5}

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	総計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因								
製品に起因する事故	設計・製造又は表示などに問題があったもの			1 (1) [0]	9 [8]	6 [2]		16 (1) [10]
	製品及び使い方に問題があったもの					1 [1]		1 (0) [1]
	経年劣化によるもの		1 (1) [1]	1 (1) [1]	28 [28]	4 [3]		34 (2) [33]
	製品起因であるが、その原因が不明のもの			2 (7) [2]	16 [14]	9 [7]		27 (7) [23]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	1 (1) [1]	4 (9) [3]	53 (0) [50]	20 (0) [13]	0 (0) [0]
製品に起因しない事故	施工、修理又は輸送などに問題があったもの							0 (0) [0]
	誤使用や不注意によるもの			1 (1) [0]	4 [4]			5 (1) [4]
	その他製品に起因しないもの				1 [1]	1 [0]		2 (0) [1]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	0 (0) [0]	1 (1) [0]	5 (0) [5]	1 (0) [0]	0 (0) [0]
原因不明のもの (G3 は除く)		2 (4) [2]		3 (3) [3]	11 [11]	9 [2]	1 [0]	26 (7) [18]
調査中のもの			1 (1) [0]		6 [6]			7 (1) [6]
総計		2 (4) [2]	2 (2) [1]	8 (13) [6]	75 (0) [72]	30 (0) [15]	1 (0) [0]	118 (19) [96]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(ii) 製品に起因する事故の事象別 事故発生件数

表5に「製品に起因する事故」における「事象別 年度別 事故発生件数」を示します。

「コンデンサーの発火」及び「内部配線の発火」が多発している事象です。いずれも経年劣化によると考えられるものが多くあり、古い製品を使用されている場合は買い替えをご検討ください。なお、()内は、内数で[経年劣化によるもの]の事故の件数です。

なお、2009年4月以降に製造された製品には製品の使用期間の目安が表示されています。買い替え時期の参考としてください。(別紙4参照)また、表示がないものは既に製造から10年以上が経過しているものです。一見すると問題なさそうでも、内部の電気部品は劣化が進んでいるおそれがあり、安全のために早めの買い替えも選択肢の一つです。

表5 製品に起因する事故の事象別 年度別 事故発生件数

事故の発生状況	2013	2014	2015	2016	2017	総計
コンデンサーの発火	13(10)	2(1)	5(4)	6(6)	7(1)	33(22)
内部配線の発火	4	5	5(2)	7(1)	2(1)	23(4)
モーターの発火	3(3)		1(1)	3(2)	2(1)	9(7)
その他部品の発火	2	2	1		1	6
羽の破損	4		2			6
電源コードの発火	1(1)					1(1)
総計	27(14)	9(1)	14(7)	16(9)	12(3)	78(34)

2. 事故の事例と気を付けるべきポイント

(1) エアコンの事故事例と注意事項

① リコール対象製品による室内機の発火

2017年8月（滋賀県、50歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン室内機及びその周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

エアコンのファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵されたコンデンサーがショートし、発熱・発火し、出火に至ったものと考えられる。

なお、製造事業者は2014年10月17日よりリコールに基づく製品の点検・修理を実施していたが、使用者がリコールを把握していたかは不明である。

② リコール対象製品による室外機の発火

2017年8月（大阪府、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン室外機及びその周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

エアコン室外機の基板におけるはんだ接続部で、はんだ量が少なく、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、基板の発煙・出火に至ったものと考えられる。

エアコンの火災事故を防ぐために

リコール製品による事故を防ぐため、お持ちの製品がリコール対象かどうかを確認してください。別紙8では本資料の事故に含まれるリコール対象製品のリコール情報を掲載しております。

リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談してください。

NITE ホームページにおいて、1989年度以降に製造事業者、販売事業者などの事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jiko-db/recall/search/>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」などの単語で検索してください。

③ 据え付け不良による室内機の発火

2018年6月（北海道、30歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン室内機及びその周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者がエアコンを設置する際に、事故品の電源プラグを延長コードに接続し、さらに接続部が宙に浮いた状態で使用していたため、接続部が緩むなどにより接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「据え付けは販売店又は専門業者に依頼する。延長コードは使用しない。感電や火災の原因になる。」旨、記載されている。

④ 配線の途中接続による発火

2018年2月（埼玉県、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン付近から出火し、壁の一部が焼損した。

【事故の原因】

使用者の知人が室内機と室外機を接続する配線を圧着スリーブにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定される。なお、据付工事説明書には、「配線は途中接続しない。感電、火災の原因になる。」旨、記載されている。



エアコンの火災事故を防ぐために

○電源コードを加工、修理しない

電源コードの修理や他のコードとのねじり接続など、コードを途中で接続するような加工は行わないでください。接続不良により、発煙・発火するおそれがあります。このような不適切な修理や加工は、「電源コードが短い」「長すぎる」「電源プラグの形状が異なる」といった理由で行われることがあります。

電気工事には専門の知識が必要です。電源コードや電源プラグに不具合が生じた際は、必ず、電気事業の資格を有した業者に相談するとともに、コンセントの移設などの電気工事は、電気工事士の資格を有した者が行ってください。

また、既に設置されている製品がこのような加工を施されていないか、使用開始前に点検してください。

○電源コードを延長コード、テーブルタップ類と接続しない

エアコンは、延長コードやテーブルタップなどを使用せず、エアコン専用設置されているコンセントに差し込んでください。エアコンは始動時に一時的に大電流が流れるため、テーブルタップや延長コードなどを使用すると異常発熱し、発煙・発火するおそれがあります。



(写真) ねじり接続



(写真) 接続部の補修

(参考) エアコンの火災事故を防ぐために

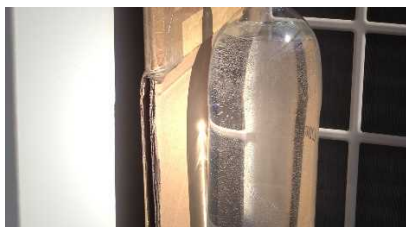
○室外機の近くに可燃物を置かない

エアコンの事故のうち 88 件が「製品に起因しない事故」ですが、そのうちの 28 件は製品内部に出火の痕跡はなく、外火による延焼の可能性が疑われます。特に、室外機の周囲に可燃物を置いておくと、着火した際に室外機に燃え移り大きな火災に至るおそれがあるため、可燃物を置かないように注意してください。

■外火により室外機が焼損するシチュエーション



花火の火の粉



取れん火災



タバコの不始末

(2) 扇風機の事故事例と注意事項

○長期使用によって絶縁劣化などが生じ、異常発熱やショートして発火

① 2017 年 8 月（佐賀県、70 歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

扇風機を使用中、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

約 47 年の長期使用により、モーターの内部配線の絶縁性能が低下するとともに、ショートし、周辺の樹脂部品に着火したと考えられる。

② 2017 年 3 月（富山県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

施設に設置されていた天井据付け型の扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。扇風機は動作していなかったが、運転スイッチは入っていた。

【事故の原因】

約 25 年の長期使用により、モーターの回転軸が固着して、正常に回転できなくなったことで過大な負荷が掛かって、モーターの巻線が異常発熱し、出火したものと推定される。

なお、事故品の扇風機は使用時に首振り動作をさせようとしても、首を振らないことがあり、使用者はそれを認識していたが使用を続けていた。

③ 2017 年 10 月（兵庫県、60 歳代・女性、製品破損）

【事故の内容】

扇風機を使用中、火災が発生した。

【事故の原因】

約 41 年の長期使用により、モーター起動用コンデンサーが絶縁劣化したため異常発熱し、出火に至ったものと推定される。

扇風機の火災事故を防ぐために

○製造から長期間経過した扇風機の使用は注意する

製造から長期間経過した扇風機は、製品内部の部品が劣化して事故に至るおそれがあります。このような古い扇風機のモーターから異音が生じる、異常発熱するなどの症状が出た場合は使用を中止してください。

○事故の前兆を見逃さない

以下のような異常が見られる場合は、使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、購入店または製造・輸入事業者の修理窓口にご相談してください。

- スイッチを入れても羽が回らない
- 羽が回っても異常に回転が遅かったり不規則
- 羽が回転するときに異常な音や振動がある
- モーター部分が異常に熱かったり焦げ臭いにおいがする
- 電源コードに触れるとファンが回転したり、止まったりと動作が不安定
- 電源コードや電源プラグに傷みがある
- 首振り動作が不規則であったり、異常な音が生じる

○経年劣化による影響が出やすい部品

2013年度から2017年度の経年劣化による扇風機の事故34件のうち、電源コードの劣化で発生した1件を除き、33件は以下の部品のいずれかが劣化したことによる事故です。（部品の詳細は別紙5参照）

- コンデンサー
- モーター（巻線、軸など）
- 内部配線（コード）



コンデンサー



モーター



内部配線（コード）

○使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

扇風機による事故の中には、「動いていないため、スイッチが切れていると思ったが切れていなかった」「スイッチを入れたものの動かなかったため、そのままにしていた」という状態であったため、事故に至った事例も報告されています。特に製造から長期間経過した扇風機においては、使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

○古い扇風機は買い換えを検討する

古い扇風機は部品が劣化するなどして火災のおそれがあるため、買い替えをお勧めいたします。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 小田
担当者 柿原、向井

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617

事故原因について

本文中では、事故原因を以下の表のように分類しています。

表1 事故原因一覧

	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	設計、製造又は表示などに問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	施工、修理又は輸送などに問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱いなどに問題があったと考えられるもの
	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	原因不明のもの	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	調査中のもの	調査中のもの

エアコン取付工事やエアコンクリーニングに携わる事業者の方々へ

① 電源コードの途中接続により異常発熱・発火

2016年2月（岡山県、年齢不明・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のエアコン付近から出火し、周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

施工業者が電源コードを途中で別のコードと手より接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと考えられる。

電源コードの途中接続はコードの延長や、次の図 6 のように電源プラグの形状が異なるために行われることがあります。

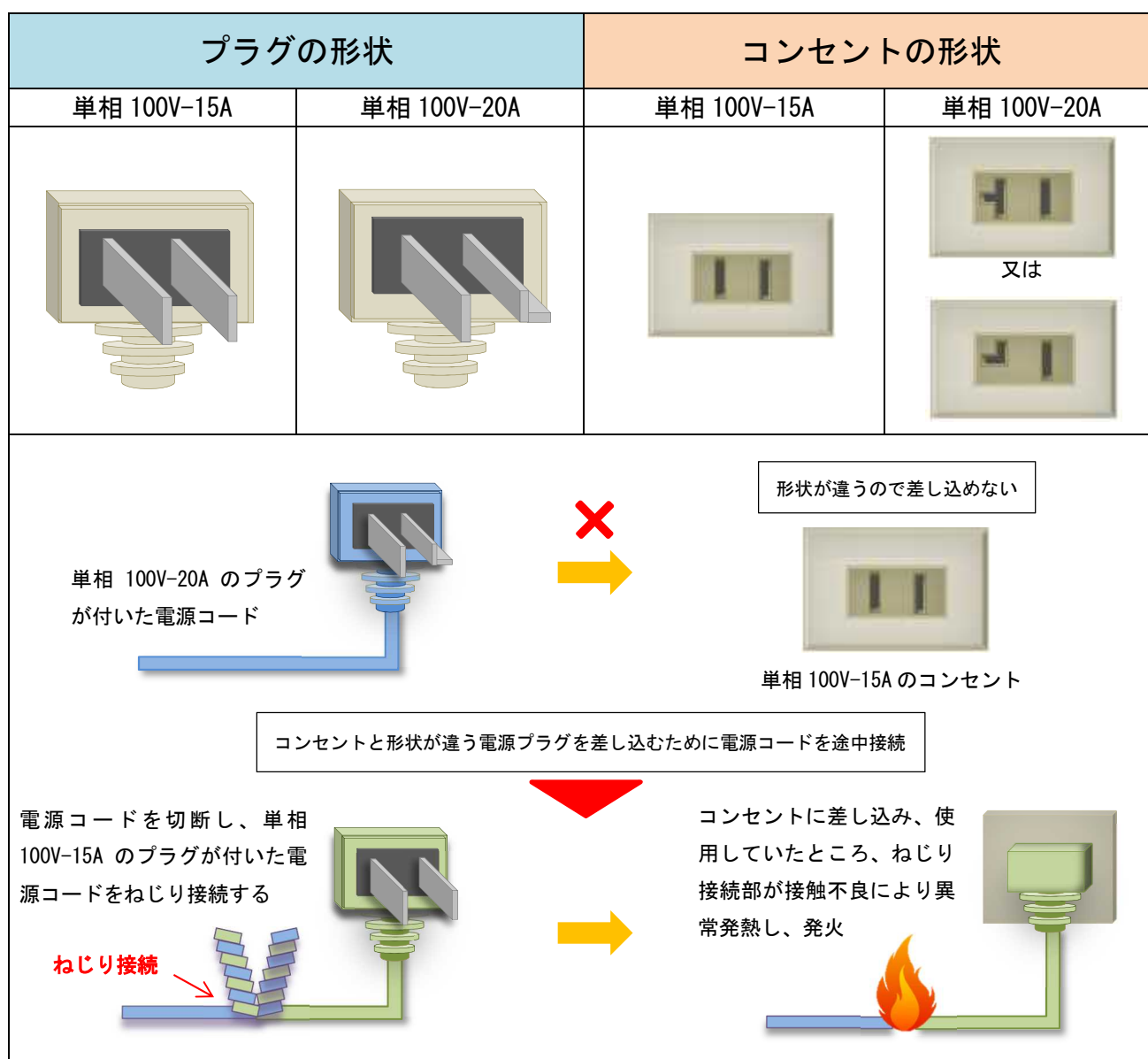


図 1 電源プラグの形状とねじり接続について

② 室内外ユニット間配線の途中接続により異常発熱・発火

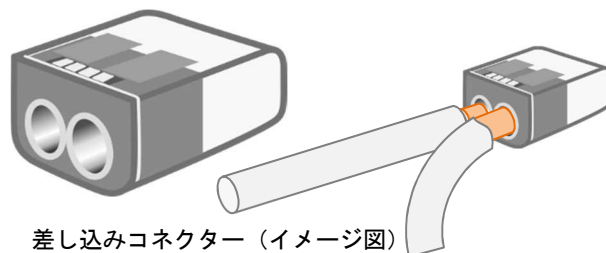
2018年2月（京都府、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンの室内機と室外機を接続する配線付近から出火し、周辺を焼損した

【事故の原因】

施工業者が室内機と室外機を接続する配線を差し込みコネクタにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられる。



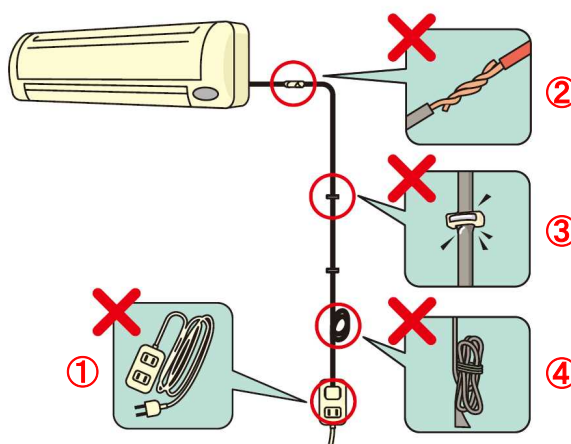
差し込みコネクタ（イメージ図）

エアコン取り付け時の注意点^{※1}（事業者の方へ）

エアコン取付工事は「据付説明書」「電気設備技術基準」に従って適切に行ってください。

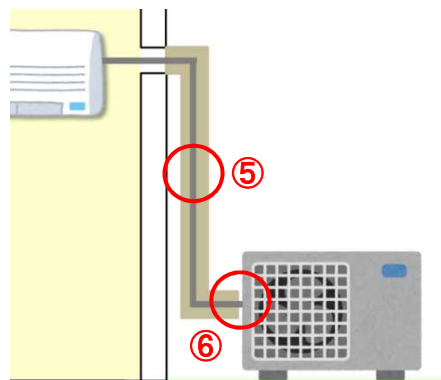
○電源コードの注意点

- ・延長コードの使用やたこ足配線はしないでください（⇒ ①）エアコンの負荷に耐えられず発熱・発火に至るおそれがあります。
- ・切断やつぎ足し接続などの加工はしないでください（⇒ ②）接続部が発熱・発火に至るおそれがあります。
- ・ステーブル（U字くぎ）などでの固定はしないでください（⇒ ③）ステーブルがコードを傷付け、半断線などにより発熱・発火に至るおそれがあります。プラスチックの固定具など、傷付ける可能性の低い固定をしてください。
- ・極度に折り曲げたり、束ねたりしないでください（⇒ ④）熱がこもることにより被覆が溶け、ショートするおそれがあります。



○室内外ユニット間配線の注意点

- ・配線を途中接続しないでください（⇒ ⑤）接続部が発熱・発火に至るおそれがあります。
- ・配線は接続端子にしっかりと接続してください（⇒ ⑥）接続が不十分だった場合、接触抵抗により発熱・発火に至るおそれがあります。



（※1）経済産業省とNITEで作成し各関係団体に配布したチラシより一部引用。詳細は以下のホームページを参照。

http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/secchimizen.html

③ エアコン洗浄により洗浄液が機器内部に浸入してトラッキング現象が発生し、発煙・発火

2016年6月（埼玉県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンの電源を入れたところエアコン室内機から黒い煙が上がり、出火して集合住宅の一室を全焼する火災が発生した。エアコンには洗浄液の付着が確認された。

【事故の原因】

エアコンの洗浄を行った事業者が、エアコン洗浄液を内部の電気部品に付着させたためにファンモーター配線間でトラッキング現象が発生し、発火に至ったと考えられる。

エアコン洗浄時の注意点^{※1}（事業者の方へ）

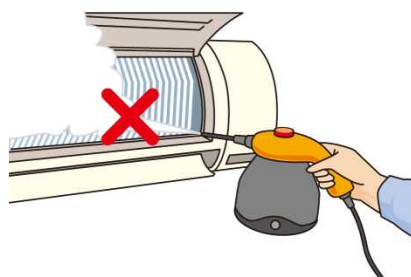
現場に入る前に

- 洗浄剤は、樹脂材（プラスチック）や金属部を侵さない適正なものを使用してください。溶剤が樹脂材や金属部を侵すことによりショートなどが生じるおそれがあります。



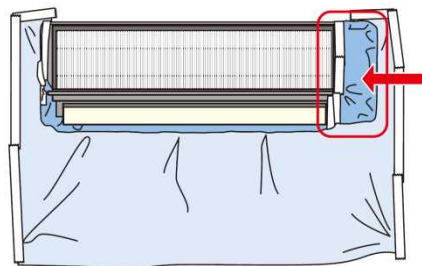
作業中は

- 樹脂部品に損傷を与えるような高温高圧スチームでの洗浄を行わないでください。損傷部から溶剤が基板などに侵入したり、水分やゴミなどが付着し、トラッキングが生じるおそれがあります。



作業中は

- 電気部品、ファンモーターなどには“絶対に”洗浄剤がかからないようにしてください。配線などでトラッキングが生じ、火災に至るおそれがあります。



作業が終わったら

- 汚れが排水経路に詰まらないようにして十分すすぎを行ってください。排水経路の詰まりにより内部に水分が残り、腐食やトラッキングなどの原因となるおそれがあります。



(※1) 経済産業省とNITEで作成し各関係団体に配布したチラシより一部引用。詳細は以下のホームページを参照。

ご自身でエアコン洗浄をされる使用者の方へ

エアコン洗浄の注意点

○エアコン内部の洗浄を行う際は、電気部品に洗浄液がかからないように十分注意する

エアコン洗浄の際には電源配線、電源基板などやファンモーターなどの電気部品にエアコン洗浄液がかからないよう十分に注意する必要があります。誤った方法で内部の洗浄を行うと、エアコン洗浄液などが電源配線、電源基板などの電気部品に付着してトラッキング現象を起し、発煙・発火するおそれがあります。

洗浄前には電気部品、ファンモーターなどを保護し、絶対に洗浄液がかからないようにしてください。

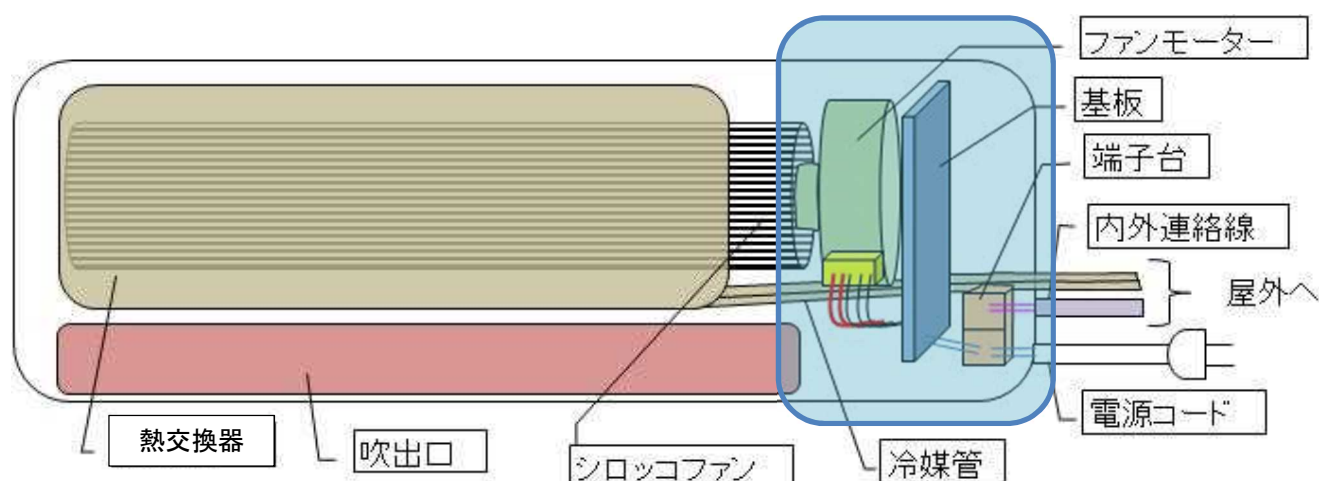


図1 エアコンの構造 (概要図)

図1の青い範囲が洗浄液などがかった場合火災に至る可能性のある部品です。洗浄の際は絶対に洗浄液や水分などを付着させないよう注意してください。

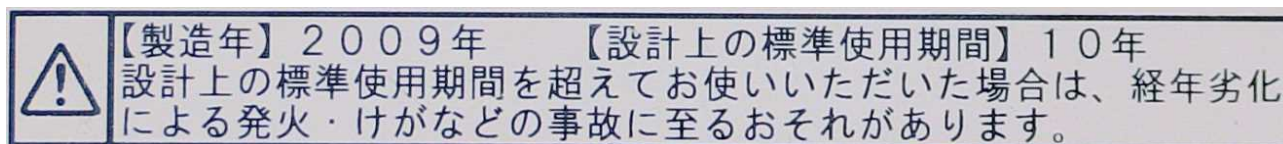
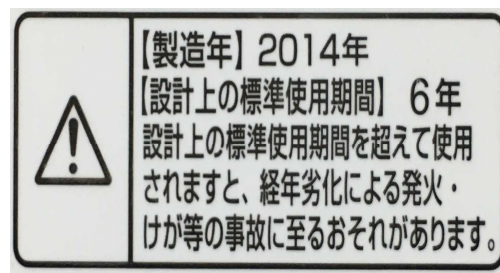
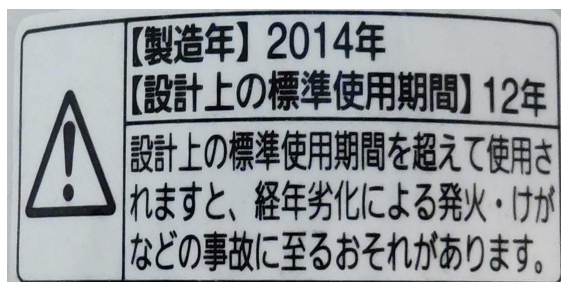
(参考) **長期使用製品安全表示制度**

エアコン、扇風機、電気洗濯機（乾燥装置を有するものを除く）、換気扇、ブラウン管テレビの 5 品目において、製品の長期間使用に伴う経年劣化による事故を防ぐため、「長期使用製品安全表示制度」が設けられています。

2009 年 4 月以降に製造または輸入された 5 品目においては、「製造年」、「設計上の標準使用期間」「設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがある旨」の表示が義務付けられています。



(写真) 表示場所例

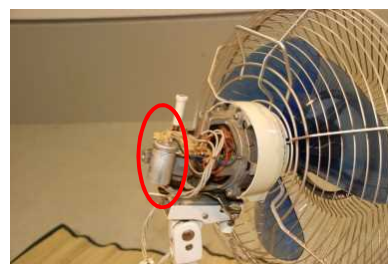


(写真) 長期使用製品安全表示制度 表示イメージ

経年劣化による影響が出やすい部品

○コンデンサー

扇風機のモーターを起動させるための電気部品です。
古い型式のものは可燃性物質が封入されており、経年劣化で異常を起こした際に火災などにつながるおそれがあります。

**○モーター**

扇風機の羽を回転させるための部品です。
モーターの構成部品である巻線の表面は絶縁処理した銅線を使用していますが、長期間の使用により絶縁性能が劣化し、異常発熱してショートすることを生じる可能性があります。
また、同様にモーターの構成部品である回転軸が固着して、異常発熱を生じることもあります。

**○配線（コード）**

扇風機の中を通っている配線や本体に電気を送るための電源コードなどは、長期間使用する間に移動や首振り運転などで繰り返し折り曲げられて劣化している場合があります。



参考データ

以下にエアコンの使用期間別事故発生件数を示します。

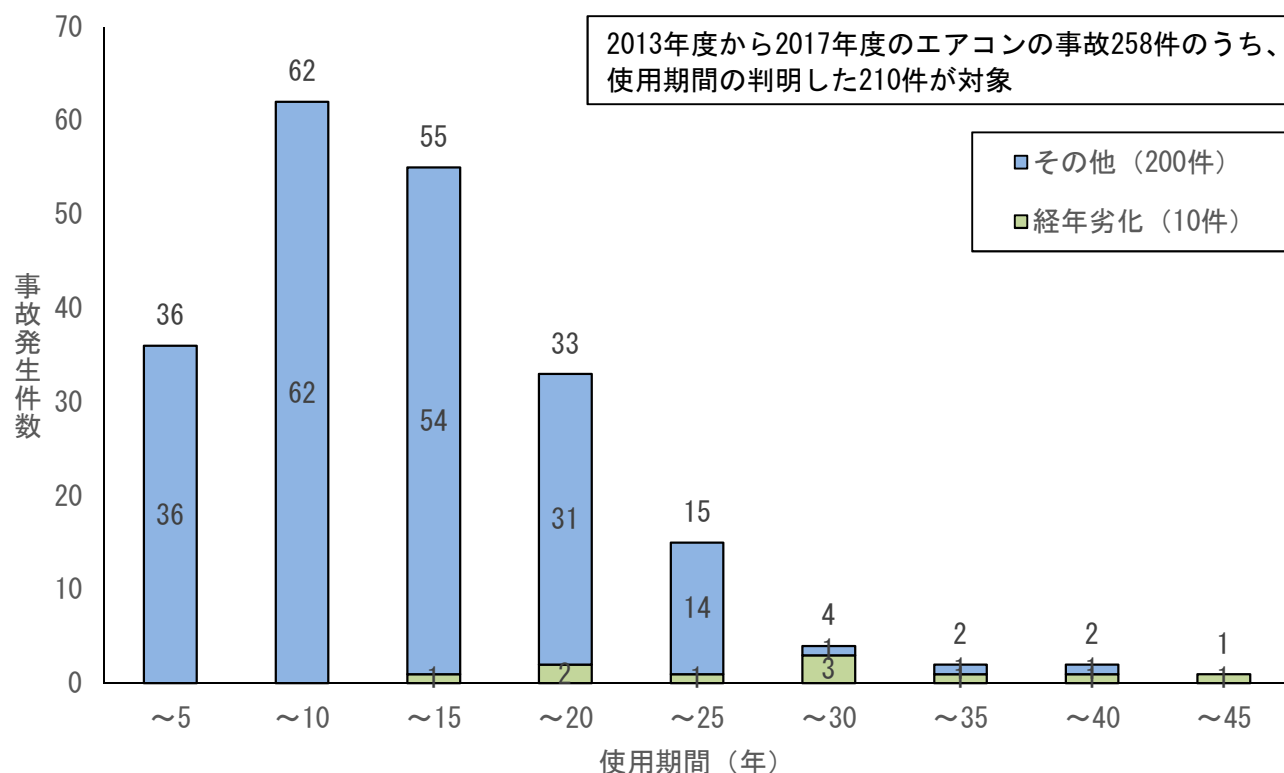


図1 使用期間別 事故発生件数

以下に扇風機の「製品に起因しない事故」における「事象別 年度別 事故発生件数」を示します。

表1 製品に起因しない事故の事象別 年度別 事故発生件数

事故の発生状況	2013	2014	2015	2016	2017	総計
高温下での使用による コンデンサーの発火					1	1
踏みつけなどによる 電源コードの発火		2		1	1	4
羽の破損	1					1
踏みつけなどによる 電源コードの破損		1				1
総計	1	3		1	2	7

死亡・重傷事故の詳細

以下に参考情報として、エアコン及び扇風機における死亡・重傷事故の概要を示します。

■エアコン（死亡・重傷）

no	発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容
1	2014/07	エアコン	鹿児島県	80 歳代・女性 死亡	5 年	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。焼損が著しく、確認できない部品もあることから、原因の特定には至らなかった。
2	2015/09	エアコン	愛知県	80 歳代・男性 死亡	24 年	建物を半焼する火災が発生し、1名が死亡した。電源コードに引っ張りや屈曲などの過度の外力が繰り返し加わったため、電源コードが断線、異常発熱してショートし、出火に至ったものと推定される。
3	2016/05	エアコン	大阪府	60 歳代・女性 死亡	19 年	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。焼損が著しく、確認できない部品もあることから、原因の特定には至らなかった。
4	2015/04	エアコン	東京都	年齢不明・男性 重傷	4 年	撤去作業中、エアコンの部品が破裂し、手指を負傷した。エアコン撤去業者が作業の手順を誤ったため、圧縮機内部が異常高温・高圧状態となり、破裂したことで手指を負傷したものと推定される。
5	2017/01	エアコン	愛知県	50 歳代・女性 重傷	4 年	エアコンを修理後、肝機能障害を発症した。修理不良により冷媒管に亀裂が生じて冷媒が漏れていたため、ガスこんろを使用した際に漏れた冷媒が熱分解し、発生した毒性ガスを吸引して事故に至ったものと推定される。

■扇風機（死亡・重傷）

no	発生日	品名	発生場所	被害者	使用期間	事故内容
1	2013/07	扇風機	兵庫県	60歳代・男性 60歳代・女性 20歳代・男性 死亡（3名）	16年	建物を全焼する火災が発生し、3名が死亡した。焼損が著しく、確認できない部品もあることから、原因の特定には至らなかった。
2	2015/07	扇風機	岐阜県	40歳代・女性 死亡	2年	使用中の扇風機付近から出火して、住宅を全焼し、1人が死亡した。焼損が著しく、確認できない部品もあることから、原因の特定には至らなかった。
3	2013/08	扇風機	大阪府	70歳代・女性 重傷	29年	扇風機及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。長期使用（約29年）によるコンデンサーの経年劣化により、異常発熱して発火に至ったものと推定される。
4	2018/03	扇風機	千葉県	10歳未満・男児 重傷	29年	扇風機を使用中、当該製品のモーターヘッド部を支える部品が破損し、左腕を負傷した。現在、原因を調査中。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2018/1/11	エアコン	三菱重工サーマルシステムズ 法人番号： 4010401123213	<p>[製品名及び型式] ■対象製品の概要</p> <p>三菱重工株式会社(現 三菱重工サーマルシステムズ株式会社)が輸入したエアコンの一部の機種のうち、1999年10月～2007年に製造されたもの。</p> <p>点検対象のエアコンの機種については下記をご覧ください。2018/05/30 (機種追加) http://www.mhi-mth.co.jp/information/pdf/180115.pdf</p> <p>[製造期間] 1999年10月～2007年</p> <p>[リコールの内容] 特定の条件下において、ファンモーターのリード線接続部から発火に至るおそれがあるため。</p> <p>[対処方法] 対象エアコンの点検、修理 (無償)</p> <p>[問い合わせ先等] 三菱重工冷熱株式会社(販売・サービス担当) 点検受付専用窓口 ◆電話番号：0120-224-570 ◆受付時間：9：00～18：00 (月～金) 9：00～17：00 (土・日・祝日) ◆事業者URL：http://www.mhi-mth.co.jp/information/180115_001.html</p>
2014/10/17	エアコン	ダイキン工業株式会社 法人番号： 8120001059660	<p>[製品名及び型式] ルームエアコン室内機 *室内機対象機種一覧へ</p> <p>[販売等期間] 2006年9月～2010年8月：(製造)</p> <p>[社告等の内容] 当製品において、送風用ファンモーターより発煙・発火する事故が発生。</p> <p>[対処方法] 無償点検(修理)</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-330-696 ・受付時間：平日、土、日、祝日ともに24時間受付可 ・URL：http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/index.html</p>
2010/5/21	エアコン	三洋電機株式会社 法人番号： 7010401012149	<p>[製品名及び型式] 室外機型式： SAP-U191C、SAP-U222C、SAP-U191CN、SAP-U221CN、SAP-U221CZ SAP-U221CA、SAP-U223CA、SAP-UE201C、SAP-UE221C、SAP-U332CA、SAP-U333CA</p> <p>※参考：室内機型式 SAP-W19K、SAP-W19KA、SAP-A19KN、SAP-A22KN、SAP-A22E、SAP-A22T、 SAP-A22F、SAP-W22K、SAP-W22F、SAP-B22F、SAP-W22E、SAP-B22KZ、 SAP-W22KB、SAP-BE20K、SAP-BE22K、SAP-U33EA、SAP-B33F</p> <p>[販売等期間] 製造期間：1974年～1976年</p> <p>[社告等の内容] 当製品において、室外機のファンモーターの運転コンデンサが長期使用による経年劣化によって、内部短絡を起こし、発煙・発火事故が発生。 今後、同様な事故の発生を防止するために、1976年(昭和51年)以前に製造された上記室外機対象機種の使用を中止してください。</p> <p>[対処方法] 注意喚起</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-34-0065 ・受付時間：9：00～17：00 (土・日・祝日は除く) http://jp.sanyo.com/info/products_safety/100521.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2009/2/4	エアコン	ダイキン工業株式会社 法人番号： 8120001059660	<p>[製品名及び型式] 「室外機の機種名」または「リモコン型番」「室内機の機種名」のいずれかで確認してください。</p> <p>「室外機 機種名」：無償点検・修理の対象 AR2504X/AR2505X/AR2804X/AR2805X/RA224X/RA224XE/RA225X/RA225XE/RA2541X/RA2542X/RA2542XE/RA254X/RA254XE/RA255GX/RA255GXE/RA255X-T/RA255X-W/RA255X-WE/RA284X/RA284XE/RA285GX/RA285GXE/RA285X-T/RA285X-W/RA285X-WE/RAZ255X/RAZ255XE/RAZ285X/RAZ285XE</p> <p>室外機の機種名を確認できない場合は、下記「リモコン型番」「室内機の機種名」で確認してください。</p> <p>「リモコン型番」： ・室外機が対象機種となり対策が必要です：ARC401A5 ・対象以外の室外機の可能性もあるので、室内機の機種名を確認してください。 ：ARC401A7/ARC402A1/ARC407A1/ARC408A2/ARC409A1</p> <p>「室内機 機種名」： AN2504X/AN2505X/AN2804X/AN2805X/F224TX/F225TX/F2541TX/F2542TX/F254TX/F255TGX/F255TX/F284TX/F285TGX/F285TX/FZ255X/FZ285X/</p> <p>[販売等期間] 1994年1月～1996年8月（製造）</p> <p>[社告等の内容] 室外機のコンデンサ端子部のゆるみ、または機外からの異物侵入・付着によるショートが原因で、室外機が発煙・発火にいたる事故が発生。</p> <p>[対処方法] 無償点検・修理</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル：0120-330-696 ・受付時間：24時間受け付けます。（平日・土・日・祝日） ・ホームページURL：http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2009/090203/index.html</p>
2004/10/18	エアコン	ダイキン工業株式会社 法人番号： 8120001059660	<p>[製品名及び型式] ルームエアコン</p> <p>下記機種名、製造番号のものが対象 ※対象機種の定格冷房能力は、2.2kW～3.2kW</p> <p>対象機種 対象製造番号 (6～10桁) (7桁数字) AR2205X 4000101 ～ 4003200 5000101 ～ 5007200 AR228HDX 7000101 ～ 7008447 AR○○*6*～* 5000101 ～ 70***** AR○○*7*～* 6000101 ～ 70***** AR○○*8*～* 7000101 ～ 70***** RA225G*～* 4000101 ～ 70***** RA○○6*～* 5000101 ～ 70***** RA○○7*～* 6000101 ～ 70***** RA○○8*～* 7000101 ～ 70***** RAJ○○8*～* 7000101 ～ 70***** RAZ○○5*～* 4000101 ～ 70***** RAZ○○6*～* 5000101 ～ 70*****</p> <p>○○は22、25、28、32のいずれか *印は数字またはアルファベット</p> <p>[販売等期間] 平成7年1月～平成10年3月 製造</p> <p>[社告等の内容] 室外機のプリント基板のはんだ部分に亀裂が生じてスパーク、発煙・発火する事故が、国内において極めてまれに発生している。</p> <p>[対処方法] 無償で点検・修理</p> <p>[問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-330-696 受付時間：平日、土・日・祝日ともに24時間受付</p> <p>ホームページ http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019_r/index.html</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2004/8/20	エアコン	東芝キャリア株式会社 法人番号： 7010401050933	<p>【製品名及び型式】 LDR、YDRシリーズ 機種名： RAS-225LDR、RAS-255LDR、RAS-285LDR、RAS-325LDR、 RAS-406LDR、RAS-506LDR、RAS-255LDR-D、RAS-285LDR-D、 RAS-406LDR-D、RAS-255LDR-G、RAS-285LDR-G、 RAS-2559SDR、RAS-2859SDR、RAS-4069SDR、RAS-V285DR、 RAS-225YDR、RAS-255YDR、RAS-285YDR、RAS-325YDR、 RAS-405YDR、RAS-406YDR、RAS-506YDR、RAS-255YDR-D、 RAS-285YDR-D、RAS-406YDR-D、RAS-V285DR3、 RAS-2833D-I 製造番号 上記の機種は製造番号に関係なくすべて対象になります。</p> <p>ハウジングエアコン、石油エアコン、ガスエアコン、業務用エアコン 1999年11月～2002年1月に製造された製品が無償点検修理の対象になります。 (製造番号をご確認ください) HAS-M221FDR1、HAS-M281FDR1、RAK-285DR3、RAK-405DR3、 RAG-283KE、RAG-323KE、RAG-403KEJ、SIK-J500AX、 SIK-J630AX、SIK-P500HX、SIK-P630HX</p> <p>東京ガス様向け TS-B2842U-S、TS-B3242U-S、TS-B4052U-S</p> <p>大阪ガス様向け 144-0014、144-0015、144-0016、144-0017、144-0019</p> <p>東邦ガス様向け THCI-4932RC</p> <p>製造番号 911****、912**** 001****、002****、003****、004****、005****、006****、007****、 008****、009****、010****、011****、012**** 101****、102****、103****、104****、105****、 106****、107****、108****、109****、110****、111****、112**** 201**** (****は任意の数字)</p> <p>【販売等期間】 1998年(平成10年)9月～2002年(平成14年)1月 製造</p> <p>【社告等の内容】 エアコン室内ファンを回転させるためのモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液またはそれに類似する電気を通しやすい物質が付着し、さらに室内機内部で発生した結露がごくまれにリード線接続部分に回り込んだ場合に、室内機の発煙・発火に至る可能性のあることが判明した。</p> <p>【対処方法】 無償で点検・修理</p> <p>【問い合わせ先等】 ・フリーダイヤル：0120-444-899 / FAX：0120-445-175 ・受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日を除く) URL：http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.html</p>
2000/12/4	エアコン	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社) 法人番号： 5010401079438	<p>【型式・機種等】 CW-C16FS-W CW-C16FS-C CW-C18FS-W CW-C18FS-C CW-145DS-W CW-145DS-H CW-165DS-W CW-165DS-H CW-C16AS-W CW-C16AS-XB CW-C18AS-W CW-C18AS-XB</p> <p>【販売等期間】 対象品の製造・販売時期 昭和63年～平成8年</p> <p>【社告等の内容】 昭和63年から平成8年に製造・販売した窓用タテ型エアコンの冷房専用12機種において、まれに雨水や結露水が電気部品に浸入して絶縁不良となり、最悪の場合には、発煙や発火事故につながる事が判明した。</p> <p>【対処方法】 無料で点検・処置。</p> <p>【問い合わせ先等】 フリーダイヤル： 0120-878-570</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2017/7/14	扇風機	株式会社カインズ 法人番号： 3070001006474	<p>[製品名及び型式]</p> <p>ボタン式リビング扇 CZ-30W、 リモコン式リビング扇 CZ-30RY、CZ-30RW、 リモコン式ハイリビング扇 CZ-30HRY、CZ-30HRP、CZ-30HRB、 リモコン式フロア扇 CZ-40HRW</p> <p>[販売等期間]</p> <p>2012年4月～2014年6月</p> <p>[社告等の内容]</p> <p>当製品において、電気部品の不具合により発火のおそれがあるため。</p> <p>[対処方法]</p> <p>無償回収、返金</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>株式会社カインズ お客様相談室 ◆電話番号 フリーコール 0120-87-7111 ◆受付時間 10:00～18:00 ◆メールアドレス recall@cainz.co.jp 事業者URL : https://www.cainz.co.jp/information/recall.html</p>
2017/1/24	扇風機	パナソニック株式 会社 法人番号： 5010401079438	<p>[製品名及び型式]</p> <p>下記のすべてに該当するものが対象品です。 ブランド名：Panasonic 対象品番：F-GA301 製造年ラベル：ラベルなし、もしくは2009年～2014年 *「National」ブランドの製品は今回の対象期間より前の製造となるため対象外です。 *2008年10月～2009年3月の生産品は製造年ラベルが貼り付けてありません。</p> <p>[販売等期間]</p> <p>2008年10月～2014年12月に製造した製品が対象（製造年ラベルなし、もしくは2009年～2014年）</p> <p>[社告等の内容]</p> <p>当製品において、製造上の不具合により、発火に至る可能性があることが判明。</p> <p>[対処方法]</p> <p>無料製品交換（対策品）・設置</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>パナソニック エコシステムズ株式会社 壁掛扇風機市場対策室 ◆フリーダイヤル（無料）：0120-872-136（携帯電話・PHSからも利用可） ◆受付時間：2017年2月23日まで 9:00～21:00（毎日） 2017年29年2月24日以降 9:00～17:00（土・日・祝日を除く） http://panasonic.co.jp/es/peses/info/important/17012401.html</p>
2013/12/6	扇風機	株式会社アピックス インターナショナル 法人番号： 5120101027149	<p>[製品名及び型式]</p> <p>製品名：タワーファン（扇風機） 型番：AFT-677RI(WC) / (IS)</p> <p>[販売等期間]</p> <p>2007年4月～2009年8月</p> <p>[社告等の内容]</p> <p>当製品において、電源コードの断線による発火・火災事故が発生。</p> <p>[対処方法]</p> <p>無償製品交換</p> <p>[問い合わせ先等]</p> <p>・フリーダイヤル：0120-19-2000 ・受付時間：09:00～18:00（月～日曜） 09:00～17:00（2013/12/31～2014/1/3） ・URL：http://www.apix-intl.co.jp/</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/11/5	扇風機	エスケイジャパン株式会社 法人番号：8290001041800	<p>[製品名及び型式] 品名：ハイリビング扇風機 機種品番：SKJ-KR382HR（2011年製） JANコード：4541887009510 4541887009381 4541887009398</p> <p>※2010年製のSKJ-KR382HRは対象外です。</p> <p>[販売等期間] 2011年4月～2012年5月（2010年販売分は対象外）</p> <p>[社告等の内容] 当製品の一部において、製品の羽根に輸送中に傷がついたと思われる不具合があり、傷ついた羽根をそのまま使用すると羽根割れに至るおそれがあることが判明。</p> <p>[対処方法] 自主無償部品交換</p> <p>[問い合わせ先等] エスケイジャパン株式会社サポートセンター専用ダイヤル ・フリーダイヤル：0120-816-197 ・受付時間：10:00～18:00（土・日・祝 除く） 但し、11月10日（土）と11日（日）は10:00～18:00で受付を行います ・URL：http://skj-felicis.com/products/fan/skj-kr382hr/skj-kr382hr_alert.pdf</p>
2007/8/25	扇風機	三洋電機株式会社 法人番号：7010401012149	<p>[製品名及び型式] ・SANYOブランド扇風機の品番…「EF-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）」 ・新日本電気ブランド扇風機の品番…「NF-XXX（3～6桁の数字とアルファベットの組み合わせ）」 ・ゼネラルブランド扇風機の品番…「EF もしくは F-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）」 ・全日電商事株式会社ブランド扇風機の品番…「JF-30A」 ・㈱全日電チェーンブランド扇風機の品番…「JF-31A」 ・シンガーブランド扇風機の品番…「630」「635」「630D」 下記のURLよりお手元の扇風機が1977年（昭和52年）以前の販売機種か否かがチェックできます。 品番検索ページ：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/search.html ※全日電商事株式会社、㈱全日電チェーン、シンガーの3ブランドの扇風機につきましては、検索できませんので、ご注意ください。</p> <p>[販売等期間] 1977年（昭和52年）以前</p> <p>[社告等の内容] 販売年が1977年（昭和52年）以前の扇風機について、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化により発煙・発火のおそれがあることが判明。</p> <p>[対処方法] 注意喚起</p> <p>[問い合わせ先等] 三洋電機株式会社 「扇風機相談室」 ・フリーダイヤル：0120-34-0979 ・受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00（土曜・日曜・祝日 事業者休日を除く） ・事業者URL：https://www.panasonic.com/jp/support/sanyo/info/psef080430.html</p>